

ワーカーズコープ連合会ニュースレター
私たちワーカーズコープの「今」をお届けします。ワーカーズコープは、地域のみなさんで意見を出し合い、話し合いをして、「協同の力」によって、誰もが自分らしく働き暮らせる社会を創ることを目指しています。

JWCU PRESS

Vol.1
2020.11



身近な想いを仕事で実現
ワーカーズの
仕事おこし

「わが子を地域で育てたい」というたった一人の声から

上田事業所 放課後等デイサービスGO！（長野県上田市）

「一人ひとりがそこにいてくれるだけでいい」組合員の中山さんは、ワーカーズコープで働くことをこう振り返ります。
ある日、中山さんは知人の母親に話しかけられました。「学校から、養護学校に行くことを強く勧められたんです。」今まで地域でこの子を育てたいと思っていたのに離れることになる。養護学校に行っても西部児童クラブに通いたいということでした。中山さんは「どうして障害があるだけで、この希望がかなえられないのだろうか」と疑問に思いました。「ただ『地域で育てたい』と思っているだけに…」その思いから上田市で放課後等デイサービスの設立を決意しました。中山さんは「放課後等デイサービスの設立を地域に呼びかけると、障がいを抱える子どもを持つ親御さんからの支持はすぐに集まりました。地域の人に理解してもらうのはとても大変でしたけどね。」

そうして上田市で初の放課後等デイサービスGO！を開所したところ、たった1年でGO！は定員いっぱいになり、2020年6月、2ヵ所目のGO！をオープンしました。



法制化
×地域

協同労働推進ネットワーク 全国会議開催

ワーカーズコープ連合会は10月12日「協同労働推進ネットワーク全国交流会議」をオンラインで開催しました。各地のワーカーズコープ設立の受け皿として、すでに埼玉・栃木・新潟・広島・福岡で推進ネットが運営され、神奈川・長野・滋賀県で準備会が動き始めています。



法制化

地方議会意見書採択が 進んでいます

臨時国会が始まり、労働者協同組合法の成立が待たれます。

これまで地方議会で労働者協同組合法の法制化に関する意見決議要請活動を行ってきました。これまで930議会で意見書を採択していただきました（2020年7月現在）。また、自治体によっては再採択していただいている議会もあります。



働き方

自分たちでつくりだす、
子どもも私も楽しい職場
豊洲三丁目学童クラブ（東京都江東区）

入職したころ、地域に出ていき困りごとを積極的に解決しようとする先輩について歩き、「こうやって地域の力になれるんだ」と感じた組合員の薄さん。その後、地域のおじいちゃんやおばあちゃんと月に一回健康体操や工作教室・芋ほり遠足を企画。そこで出会った方々が、子どもたちのイベントに参加してくれたり、忘年会をやったり、一緒に芋ほり遠足に行き、掘った芋をその場で調理し、芋煮を青空の下みんなで食べたり、どれも大切な思い出です。「地域の人々と一緒に活動することで、普段の職場では味わうことのできない経験ができ、また、自分の特技が活かせる場ができることで自信にもつながっています。」



ワーカーズ
×自治体

豊岡市と「森のようちえん」
設立のためのサウンディング調査
Next Green 但馬（兵庫県豊岡市）

2014年に発足した「Next Green 但馬」は林業からスタートし森林整備と地域の産業育成に取り組んできました。人間と自然との距離が離れたことで自然荒廃が進んだという問題意識から、この2年間、地域の子とたちが森に入って自然体験ができるイベントを提供してきました。現在は来年度を目途に常設の「森のようちえん」の設立を目指しています。2020年、コロナノトリ保全と地域の自然の活用に取り組む豊岡市と連携し、加陽水辺公園の利用について「サウンディング調査」を行い、公民がタッグを組んで環境整備に取り組んでいます。こうして豊かな自然と人のつながりをつくる、持続可能な取り組みを日々進めています。



協同の
組織
づくり

大人も子どもも「自分で考え」「自分で決め」「失敗できる」場所に
浦安地域福祉事業所 明海小学校地区児童育成クラブ（千葉県浦安市）

「明海学童では、子どもたちは自分の行動を自分で決められます。」と話すのは責任者の橋高さん。「毎日のように外遊びに出かけていますが、行き先も子どもたちと相談して決めます。そして本当に危ないこと以外は好きなように遊んでいいことになっています。」「失敗とは学ぶ機会ですから、その機会を最大限に活かしたいと思っています。子どもたちが何かをできない時や失敗をしてしまった時には、やり方を教えるのではなく、『なぜできないんだろうね』『なぜこうなったのだろうね』と一緒に考えることにしています。最初は子どもたちの怪我が増えるかなという懸念がありました。ただ実際に続けていると、子どもたちは逆に経験が豊富になり、大きな怪我やアクシデントを事前に避ける知恵が身についてきました。」

「子どもたちが自ら育つ環境づくりを突き詰めていくと、これは私たちの働きかたの話と同じことなんだ、と感じるようになりました。明海学童では大人もどんどん失敗できる職場づくりをモットーにして、自分たちで考えて主体的に関わる仕事のかたちを作ってきました。すると職場の仲間も成長してきました。」

（続きは近日中に、ワーカーズコープのWebメディア「新しい働きかた図鑑」に掲載されます。）

+ One Topic



11/14.15 協同労働実践交流全国集会

労働者協同組合法制化時代—1人ひとりが社会をつくる主体者に

一人ひとりの違いを認め合い、合意形成に至るのは大変です。全国の協同労働を目指す現場の日々の葛藤や悩みを出し合いながら、どのように話し合いや協同の関係づくりを行っているのかを学び合います。参加を広く募集しています！

